

看護学科 履修系統図

〈教養科目〉

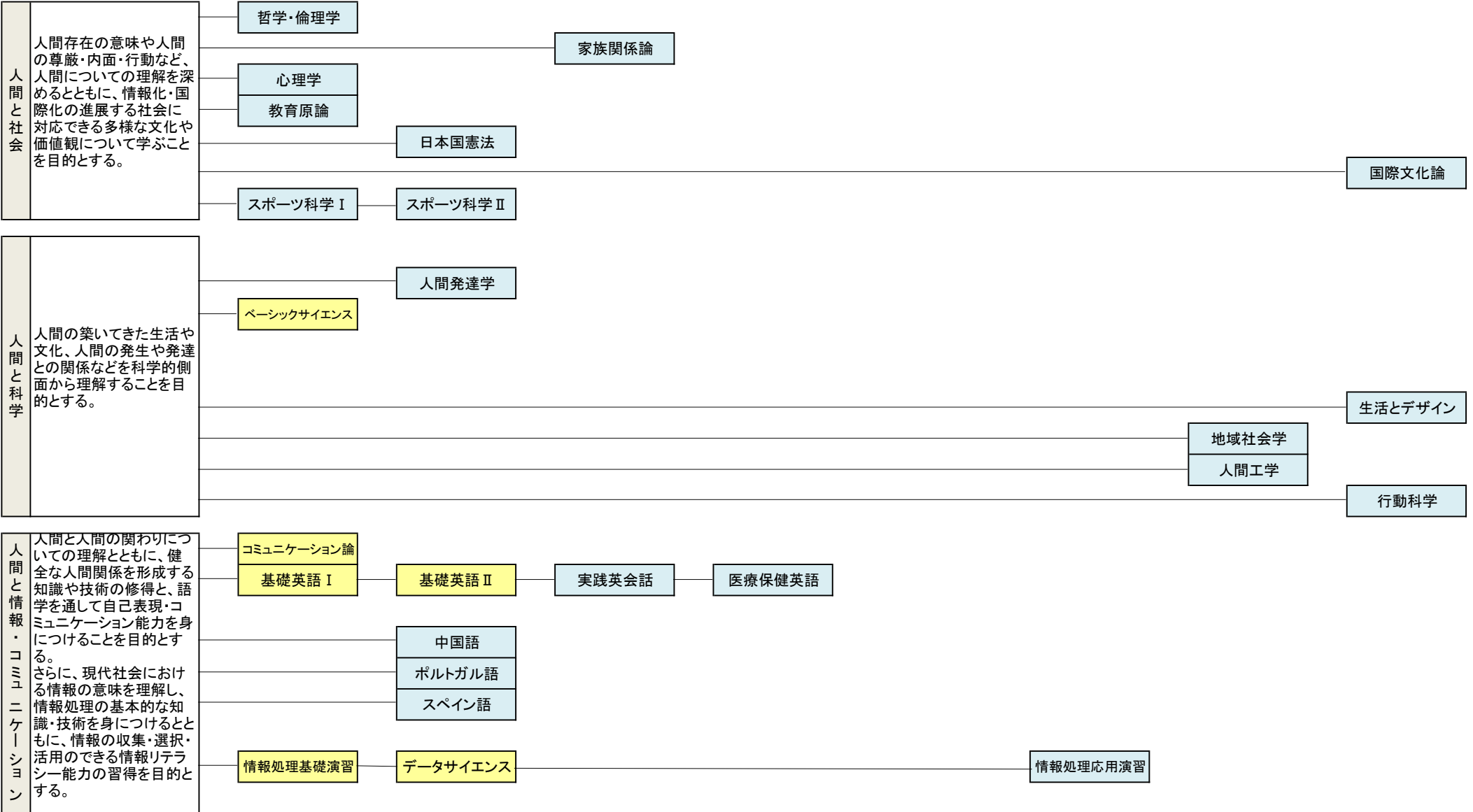
◎学習・教育目標

必修科目

選択科目

科目群の学習・教育目標

1年次 前期 後期 2年次 前期 後期 3年次 前期 後期 4年次 前期 後期



看護学科 履修系統図

〈専門基礎科目〉
◎学習・教育目標

科目群の学習・教育目標

1年次
前期

後期

2年次
前期

後期

3年次
前期

後期

4年次
前期

後期

医療保健科目
人間総合科学の一分野である、保健・医療及び食育・健康などに関わる「人間の理解」と地域・行政との関わりにおけるチームアプローチを修得する。

スタートアップセミナー

チーム連携論

人体のしくみ
看護専門基礎教育のスタートとして、健康な人体の形態学的側面と機能的側面を理解し、同時に人体を科学的側面から理解する基礎知識の習得とともに人間を総合的に理解することを目的とする。

人体の構造と機能 I

人体の構造と機能 II

人体の生化学

人間と健康
健康の概念を理解するとともに、健康の維持・増進・予防から疾病治療に至る健康の各レベルを理解し、身体・心理・社会的側面から看護アセスメント計画・実施・評価の展開方法などの基本的技術を習得する前提となる基礎的学習である。看護を的確に行うための基礎を学ぶことを目的とする。

栄養学

疾病の成り立ち
疾病の回復促進 I
感染と防御

生命倫理
疾病の回復促進 II
疾病の回復促進 III

生命と環境

臨床薬理学
臨床検査

ヘルスカウンセリング

健康生活と社会
保健・医療・福祉などに関する地域の状況を幅広く理解するとともに、健康問題を社会や生活者の視点から考えられる基礎知識の習得と、広く国際社会や地域における看護への理解を深めることを目的とする。

社会福祉学概論

保健統計学

疫学

社会保障論

保健医療福祉行政論

医療関係法規

看護学科 履修系統図

〈専門科目〉
◎学習・教育目標

科目群の学習・教育目標

看護の基本

健康や健康障害、看護の対象となる人間、人間の健康に相互作用を行っている環境を理解するとともに各看護学に共通する看護技術について学修する。

看護の実践

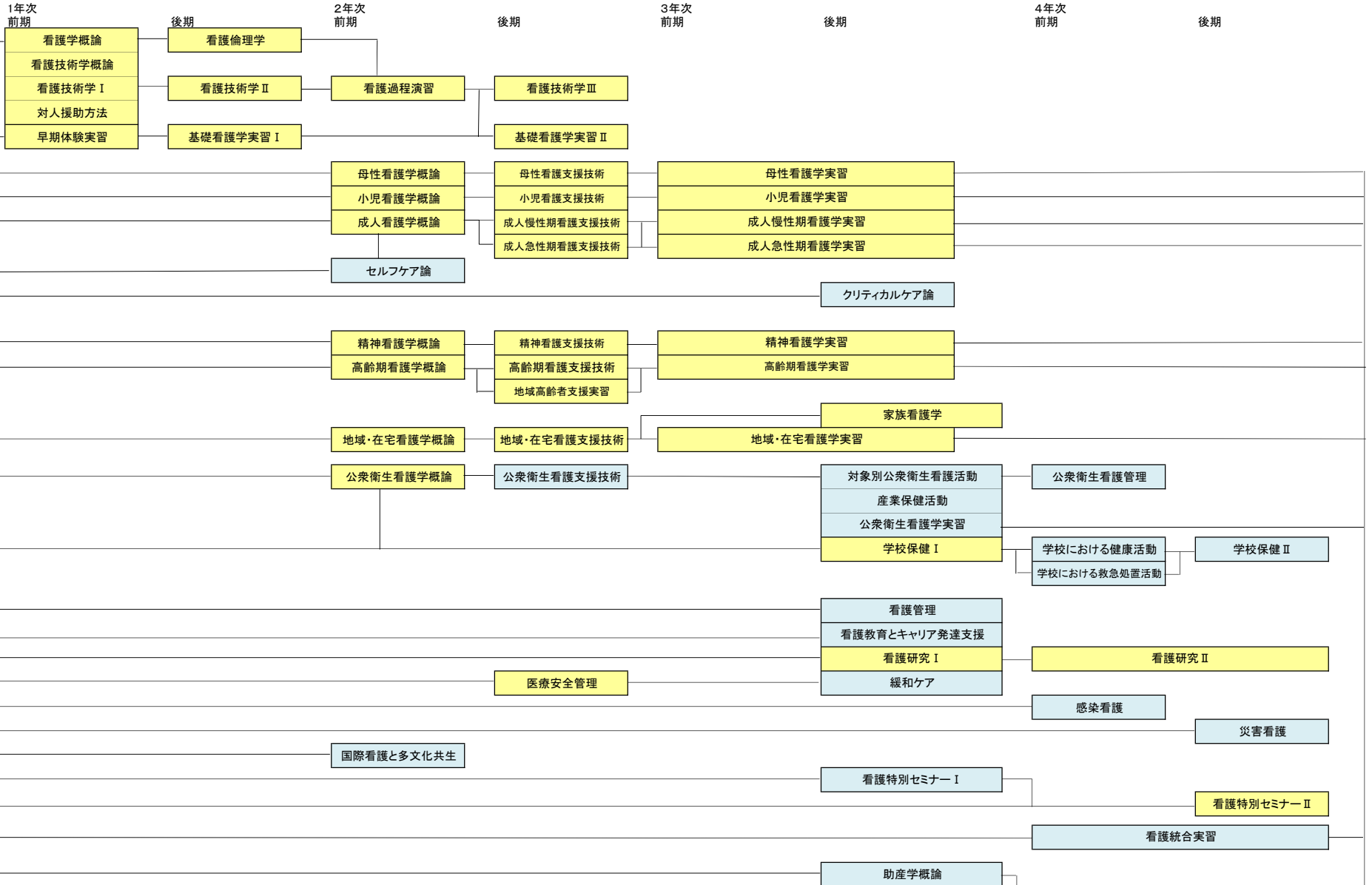
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階において科学的知識に基づいた実践的な援助ができるよう「小児」、「母性」、「成人」、「高齢期」、「精神」、のそれぞれの各領域において看護の基本となる概論、援助論を学修し、また「慢性期」「治療ならびに回復期」のそれぞれの対象に応じたケアを実践できる。

地域・在宅看護

地域において、また在宅において実践される看護の基礎的概念と看護方法を理解し、さらに地域包括ケアシステムにおける地域・在宅看護の位置づけを理解する。

看護の統合と発展

これまで学修した領域別の看護学を統合し、看護マネジメント、災害看護、グローバル化を視野に入れた看護の基礎を理解する。それにより、複合的な事象において看護の知識を統合し活用できる判断能力を養う。



助産師

助産師に必要とされる「対象の理解」と「対象を取り巻く文化・社会」に対する知識を深め、助産実践に必要な基礎技術及び助産診断とその過程展開について総合的に学修する。

- 妊娠期助産診断技術学
- 産褥期・新生児期診断技術学
- 保健指導技術

- 分娩期助産診断技術学
- 地域母子保健
- 周産期ハイリスクケア I
- 周産期ハイリスクケア II
- 助産管理
- 助産学実習